

しよか むか 初夏を迎えた

しぜんきょうしつ じゅもく 自然教室の樹木たち

三浦トピックス

第41号

自然教室の様子

(31)

発行者
清泉小学校
自然教室

ユリノキ



スダジイ



エノキハトガリタマフシ



エノキ



スイカズラ



初夏の陽気が続く中、自然教室の樹木の様子をお知らせします。ラファエラ館に上がる道路のカーブのあたりが黄色い絨毯のように染まっています。これは、スダジイの落ちた花が溜まっているのです。上を見上げると穂状の雄花がたれ下がっています。また、独特なにおいで虫を寄せ集めています。いずみ広場の奥にはユリノキの花が咲き始めました。チューリップに似ているので英語名はチューリップツリーといえます。葉の形が半纏に似ているのでハンテンボクの別名もあります。6号で紹介した鐘楼前のエノキには秋に熟すと甘い実が付き始めています。ただ、葉にくつついている少し尖がったものは虫こぶです。「エノキハトガリタマフシ」といい、割ってみると中には「エノキトガリタマバエ」の幼虫が隠れています。いずみ広場の隅にスイカズラの花が甘い香りを漂わせています。花を抜いて蜜を吸う遊びから名前がついたそうです。葉やお茶などにも使われます。